

第14回 かながわりハビリテーション・ケアフォーラムに参加しました
(公社)神奈川県理学療法士会災害対策委員会 災害対策委員会
西澤 茂子

平成30年2月3日(土)に情文ホールにおいて、神奈川県リハビリテーション支援センター主催のもと第14回かながわりハビリテーション・ケアフォーラムが開催されました。

「災害とリハビリテーション～安定した生活に戻るために、被災地から学ぶ～」をテーマに講演・シンポジウムのほかブース展示も行われました。

講演では被災者であるとともに支援者として地域社会を支えた体験を、宮城県の保健師と熊本県在勤の理学療法士のお二人からうかがうことができました。

災害対策委員会からは、下田栄次委員長が講演・シンポジストとして登壇し「災害リハビリテーションにおける支援体制づくり」について講話しました。災害概論や平時における委員会の活動のほか、熊本地震の際に実際に委員が行った支援活動を伝えるとともに、災害時におけるリハビリテーション専門職の役割について紹介しました。

展示ブースでは災害用トイレ「ラップオン」とダンボールベッドを展示して、実際にトイレを操作したりベッドに寝る体験も行っていただきました。その他にもあかちゃんとママを守る防災ノートやアレルギー児対応マニュアル、障害者の災害対策チェックキットやヘルプカードなども展示して、多くの方が手に取り熱心に読まれていました。

災害用トイレやベッドの値段、避難所にベッドが届けられる支援体制について、各種マニュアルはどこでもらえるのかなど、多くの質問をいただきました。災害対策について高い関心がある一方で、情報をどこで入手したらいいのかわからず困っている方が多くいると感じました。

災害対策委員会では「災害時に必要な備えや避難時に活用できる福祉用具」をコンセプトにした展示や、災害時における理学療法士の活動の普及啓発を今後も行っていきたく思います。より多くの皆様の関心とご参加をお待ちしております。

